

区分・種別	県指定史跡		
名称	きょうせきざんこふん 経石山古墳		
所在地	松山市桑原		
所有者	経石山古墳保存会	管理団体	
指定年月日	昭和32年12月14日		
解説	<p>きょうせきざんこふん 経石山古墳は、松山市東部、東野台地<small>ひがしの</small>の平坦なところに築かれた前方後円墳<small>ぜんぽうこうえんふん</small>で平面柄鏡式<small>へいめんえかがみしき</small>ともいわれるものである。主軸の方位はおおよそ東西を指しており、前方部をほぼ西に向けて造られた古墳である。</p> <p>古墳の全長は約49m、前方部の幅は約20m、後円部の直径は25mほどである。周囲の平地との比高は前方部が3m、後円部が5m程度である。</p> <p>市の中心部近くにこのような典型的な前方後円墳がほぼ完全な形で保たれてきたことは珍しく、古墳時代の貴重な遺跡である。以前より前方部の頂上近くに小祠があり、後円部の南東中腹には約1m四方の基壇があり、その上に「一字一石」と刻まれた台石が置かれ、台石上に石柱が立てられている。</p> <p>この経塚らしいものにちなんで、経石山の名が付けられたといわれる。</p>		

